
記憶

綉芭葵

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

記憶

【Nコード】

N1000P

【作者名】

綉芭葵

【あらすじ】

記憶が時々怖くなる。

消えていってしまうのが怖くなる。

そんなことってないですか？

不意に君の声がして顔を上げた。
君のいつもより真剣そうな顔。
意味もなくドキリとした。

僕達は思っている以上にまだ幼くて、
永遠に忘れないって思ったことも
いつか思い出になって消えていってしまう。

僕の記憶の中にいる君は、
今すぐく鮮やかで鮮明だけど、

何年か、何十年か後の僕の記憶にも鮮明でいてくれる？

青春が甘くて酸っぱいって言うのは、
きっといつか消えていってしまうからなんだって誰かが言った。

君も消えてしまうの？

ううん、違うね。僕が忘れなければ、君は消えたりしない。

きつと、消えたりしない。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1000p/>

記憶

2010年11月24日01時59分発行